

原 著

ブラジルにルーツを持つ生徒への性教育の映像教育教材の開発

総合病院土浦協同病院 看護部¹⁾
聖路加国際大学大学院看護学研究科ウィメンズヘルス・助産学²⁾

小松みなみ¹⁾, 五十嵐ゆかり²⁾

Development of Sex Education Video Materials for Students from Brazil Attending School in Japan

Tsuchiura Kyodo General Hospital Nursing department¹⁾
St. Luke's International University, Graduate School of Nursing Science²⁾

KOMATSU Minami¹⁾ and IGARASHI Yukari²⁾

抄 錄

ブラジル人学校に通う生徒は、教員の確保が困難なため、性教育を受けるのが難しい状況にある。そこで、本研究はブラジルにルーツを持つ生徒が、性に関する知識と自己のライフプランを持つことができる映像教育教材を開発し、専門家から評価を得て精選させることを目的とした。

映像教育教材は、「やさしい日本語」を使用し、妊娠について、出産と赤ちゃん、性感染症、ライフプランの大きく4つのセクションで構成した。Googleフォームを使用し、ブラジル人学校の教員2名、性教育経験のある養護教諭3名と助産師3名より評価を受けた。修正点を抽出し修正して、「やさしい日本語」とポルトガル語の二言語併記の修正版映像教育教材を作成した。

映像教育教材全体と内容としての適切性、映像教育教材全体についての評価を受けた。適切性については、1つを除き30項目で過半数が肯定的な評価であった。意見として、映像としての見やすさに対するものや、LGBTQや生き方の多様性への指摘があった。修正版では、図やイラストを増やしイメージしやすく、また多様性への配慮を含めたスライドを作成した。多様性を考慮した内容についていくことに課題が残った。

Abstract

Students who go to Brazilian schools are disadvantaged regarding study sex education because schools lack trained teachers on the subject. The objectives of this study were: to develop video materials for Brazilian students in Japan who had attended Brazilian schools to: gain sex education, develop a life plan, and for contents to be professionally evaluated and revise accordingly.

Video materials using 'easy Japanese' (yasashii nihongo) and four contents each about: pregnancy, giving birth and baby, sexually transmitted diseases, and life plans. Evaluators were three nursing faculty and three midwives experienced in sex education, and two teachers who worked in a Brazilian school. We made the revised version, which was in yasashii nihongo and Portuguese based on their critique from a Google form.

All video materials were evaluated for content appropriateness. Appropriateness got good ratings from more than half of participants for 30 of the 31 items. The opinions were to improve: video viewability, efforts for LGBTQ and pointing to diversity as a way of life. In the revised version, additions were: illustrations to visualize content and assiduities for diversity. Future research will include the contents of diversity including LGBTQ.

Keywords: video materials, sexual education, roots of foreign country, Brazilian, life plan

I. 緒 言

2021年の日本における在留外国人数は約282万人であり2020年は減少したが、概ね増加傾向にある¹⁾。

日本に住む外国にルーツを持つ子ども達は、「外国人学校」で学ぶ生徒もいる。しかし、外国人学校は学校教育法の第134条に定められる各種学校に該当するため、日本における義務教育の施設としては認められていない²⁾。また、各種学校として認可される場合もあるが、認可外の施設もある。

卒業後の状況を示す統計として、2020年における外国人労働者の状況は、19.8%が労働者派遣・請負事業を行っている事業所で就労して

いる、と示している³⁾。ブラジル人労働者のうち、52.6%はこれらの事業所で就労しており、他の国籍の労働者と比べ割合が高い⁴⁾。さらに、2020年の在留外国人の出産（母が外国人の場合）のうち十代の出産は全体の約1.1%であるが、国籍別で見るとブラジル人の十代の出産は全年齢の約3.6%であった⁵⁾。在留ブラジル人の多くが非正規雇用で就労している統計は男女合わせてのデータではあるが、非正規雇用で就職している中でも十代での出産が多い現状にある。日本人における十代での予期せぬ妊娠は、経済的な不安を抱えやすい⁶⁾。非正規雇用が多いブラジル人の十代では、妊娠・出産により就労を継続できない状況になるリスクが予想され、それが経

済的な貧困に陥る要因の一つとも考えられる。

このような状況の背景には様々な要因が考えられるが、その一つに性教育が十分ではないことが挙げられる。認可外の外国人学校では、学校の経済的な課題から性教育を教授可能な教員の雇用が困難なことも多く、リプロダクティブヘルスに関連した授業は十分でない。また、在留外国人の母親が、家庭での性教育を試みようとしても親子が使用する主要な言語の違いからうまくコミュニケーションが取れない、という現状もある⁷⁾。つまり、認可外の外国人学校に通学している生徒は、リプロダクティブヘルスについての情報が十分でない状況である。

これらの状況から、ブラジル人学校の生徒に対し、性に関する知識の習得と、ライフプランを考えるきっかけを作るための教育教材が必要であると考えた。そこで、マルチメディアの使用により、性知識の習得や定着に効果があること⁸⁾、リプロダクティブヘルスに関する教員の確保が困難な学校でも、自己学習や他の教科の教員が使用できることから、映像教材を開発することとした。また、森正⁹⁾は、経験の少ない、年齢が低い者ほど、映像的方法による伝達の有用性が高まると述べている。在留ブラジル人の十代での出産のうち、ほぼ全員が15歳～19歳である⁵⁾ため、経験の少ない状態である日本の中学相当を対象とすることで、有用性が高い教材となりうると言える。

本研究の目的は、ブラジルにルーツを持つ生徒が、性に関する知識と自己のライフプランを持つことができる教育教材を開発し、専門家から評価を得て精選されることである。

なお、本研究では、外国にルーツを持つ生徒を「日本に居住している期間、在留資格、日本語レベル等に関連せず、両親または親の一方

が外国籍の12～18歳の生徒」、また、在留外国人を「在留資格を保有し、日本に居住している外国人」と定義する。さらに、ブラジル人学校に通う生徒は、「ブラジルにルーツを持ち、日本の公立学校等に通わずブラジル人学校に通う生徒」と定義する。

II. 方 法

1. 研究デザイン

映像教育教材を開発し、アンケート調査により教員や助産師などから評価を得る評価研究を実施した。

2. 映像教育教材の作成過程

1) 映像教育教材の対象・目的・目標(表1)

映像教育教材の対象は、ブラジル人学校に通う、12～15歳の生徒で日本の中学生相当とした。また、本教材の目的は、性に関する知識を持つことができ、それを踏まえてライフプランを立てることができるとした。

2) 映像教育教材の構成(表2)

今回の内容は、在留ブラジル人の十代での妊娠率の高さから、「妊娠について」、「出産と赤ちゃん」とした。また、健やか親子21(第2次)において、十代の性感染症罹患率減少を目標に挙げられている¹⁰⁾ことから「性感染症」を内容に入れた。さらに、外国人集住都市に居住する16～19歳の外国にルーツを持つ生徒は、その84%が学校に所属し、11.2%が就労しており¹¹⁾、日本の中学校卒業者においては、就職者は0.4%である¹²⁾ことから、中学卒業後の進路として、外国にルーツを持つ生徒の方が就職する率が高いと言える。そのため、中学相当の段階で性に関する知識から、ライフプランの立案につながる内容とした。

表1 映像教育教材の目標

大項目	目標	下位項目
妊娠の成立	妊娠が成立するまでの過程が理解できる	男性の二次性徴の変化について理解できる 女性の二次性徴の変化について理解できる 妊娠の成立とはどのような状態かを理解できる 妊娠したかもしれないときの相談場所が理解できる
出産と赤ちゃん		妊娠中の症状が理解できる 妊娠と出産の経過とともに産後の女性と新生児の特徴が理解できる 妊娠、出産に関する費用が理解できる 産後の女性と赤ちゃんの特徴が理解できる
性感染症	性感染症について理解できる	性感染症の種類と症状が理解できる 性感染症の感染経路を理解できる 性感染症の予防法が理解できる 感染したときの相談場所が理解できる
ライフプラン	ライフプランをたてることができる	自己の将来を考えることができる ライフプランを立てることができる

表2 映像教育教材の構成

大項目	下位項目	内容
I. 妊娠について 約10分	i. 男性のからだの変化 ii. 女性のからだの変化 iii. 妊娠するまで iv. 妊娠したら iv. 振り返りクイズ	ホルモン 夢精 ホルモン 月経周期 月経のときの対応 受精までの経過 受精から妊娠までの経過 妊娠した時の症状 産婦人科 教員、家族 ホルモンの影響 体の変化 (男女) 排卵の時期
II. 出産と赤ちゃん 約8分	i. 妊娠中のこと ii. 妊娠したあとについて iii. お母さんと赤ちゃんの変化 iv. 振り返りクイズ	妊娠初期・中期・後期とマイナートラブル 母子手帳 妊婦健診 出産費用 産褥期の特徴 新生児期の特徴 妊娠週数 母子手帳をもらう場所 妊娠健診の回数
III. 性感染症 約10分	i. 性感染症とは ii. 感染経路 iii. 予防法 iv. 感染時の相談 v. 振り返りクイズ	性感染症の種類 (HIV、クラミジア、ヘルペス、梅毒、淋病) 性感染症の症状 感染経路 性行為をしない コンドーム 医療機関 エイズの匿名相談 主な症状 感染経路 予防法 相談場所
IV. ライフプラン 約6分	i. 将来を考えてみよう ii. ライフプランを立ててみよう	5年、10年後どうなりたいか 用紙に5、10、15、20、25年後の将来を記載する演習

United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization (UNESCO)¹³⁾ の International technical guidance on sexuality education: an evidence-informed approach, 東京都教育委員会の「性教育の手引き」や文部科学省の「中学校学習指導要領解説 保健体育編」を参考に内容を作成した。

3) 言語の検討

日本語の学習支援になるため、「やさしい日本語」と音声、ポルトガル語の併記とした。この段階では、ポルトガル語の部分は枠で示した。「やさしい日本語」とは、主に災害時に外国にルーツを持つ人々が、情報収集の弱者にならないよう考案されたもので¹⁴⁾、難しい言葉を言い換えるなど相手に配慮した分かりやすい日本語を指す¹⁵⁾。「やさしい日本語」は、弘前大学人文学部社会言語学研究室の〈増補版〉「やさしい日本語」作成のためのガイドラインを参考にした。

3. 映像教育教材の評価

1) 研究対象者

ブラジル人学校の教員3名と、性教育経験のある助産師3名、養護教諭3名を研究対象者とした。選定理由は、ブラジル人学校の教員はブラジル人学校の生徒と関わりのあること、助産師は教材の内容にある出産や性と生殖に関する専門家であること、養護教諭は日常的に中学相当の生徒への保健指導等を行い、養護の専門家であること、である。

2) データ収集期間

2020年9月1日～2020年10月31日

3) 調査方法

(1) リクルート方法

機縁法にてブラジル人学校の教員、性教育経験のある助産師、養護教諭の紹介を受け、研

究対象者にオンライン会議システムを使用し、1人または、複数に研究説明を行った。その後、説明で用いた研究の説明書、参加協力の同意書、同意撤回書を郵送した。研究説明時に、その場で同意の可否は確認せず、同意する際にのみ、同意書に署名し返送してもらった。

(2) データ収集方法

映像教育教材は、研究対象者のデバイスで視聴してもらった。視聴後は『映像教育教材としての適切性(15項目)』(文字や図の大きさ、色使い、音量や所要時間、セクションを選択できること等について)、『映像教育教材としての内容の適切性(16項目)』(各セクションの内容の適切性について)、『映像教育教材全体について(1項目)』(全体を通しての意見や感想)、『性教育経験について(3項目)』(職業と経験年数、性教育経験の有無)以上を無記名で回答してもらった。適切性を問う質問は、「非常にそう思う」、「そう思う」、「そう思わない」、「全くそう思わない」の4件法で行い、それぞれの項目に対し評価の理由を自由記載にて記述してもらった。回答は、無記名で、Googleフォームを使用した。

(3) 分析方法

量的データは単純集計し分析を行った。自由記載で得られた質的データは意味内容をまとめ映像教育教材の修正点を抽出した。

4. 倫理的配慮

研究の目的、研究参加の自由意思、協力の諾否または同意撤回の場合に不利益が生じない、匿名性、データの保管について、文書と口頭にて研究対象者に説明し、同意を得た。聖路加国際大学研究倫理審査委員会の承認(承認番号: 20-A030, 承認日: 2020年7月15日)を得て、実施した。

III. 結 果

I. 結果の概要

1. 研究対象者の概要

8名の研究対象者から結果を得た。内訳は、ブラジル人学校の教員2名、養護教諭3名、助産師3名であった。なお、研究対象者の所属はすべて教育機関で、5か所であった。

また、それぞれの職業の経験年数は、「3年」、「8年」、「15年」、「25年」、「30年」、「36年」、不明(2名)であった。さらに、性教育経験の有無については、経験「あり」は6名(75%)、「なし」は2名(25%)であった。

2. 評価の概要

全体の評価として、1つの項目を除き適切性における30項目で「非常にそう思う」、「そう思う」という肯定的な評価が50%以上を占めていた。

1) 映像教育教材としての適切性(図1)

(1) 画面の見やすさ

「図や文字の位置」、「文字の量」、「色使い」は全員が、「字の大きさ」、「フォント」は7名(88%)が、「ポルトガル語の併記の見やすさ」は4名(50%)が肯定的な評価だった。しかし、配色は色覚異常の方へ配慮すべき等の意見があった。

(2) 映像としての分かりやすさ

「セクションごとに動画を選択できること」は、全員が「非常にそう思う」という評価であった。 「音量」は全員が、「話すスピード」、「やさしい日本語」は7名(88%)が、「次のスライドにいく速さ」は5名(63%)が肯定的な評価だった。セクションごとに動画を選択できることについて、「好きなタイミングで好きな内容の映像を選んでスムーズに見せることができる」、「興味・関心に応じて選択できる」等の理由で肯定的な評価となっていた。「やさしい日本語」であっても、理解が困難と思われる表記があり、図を加えた説

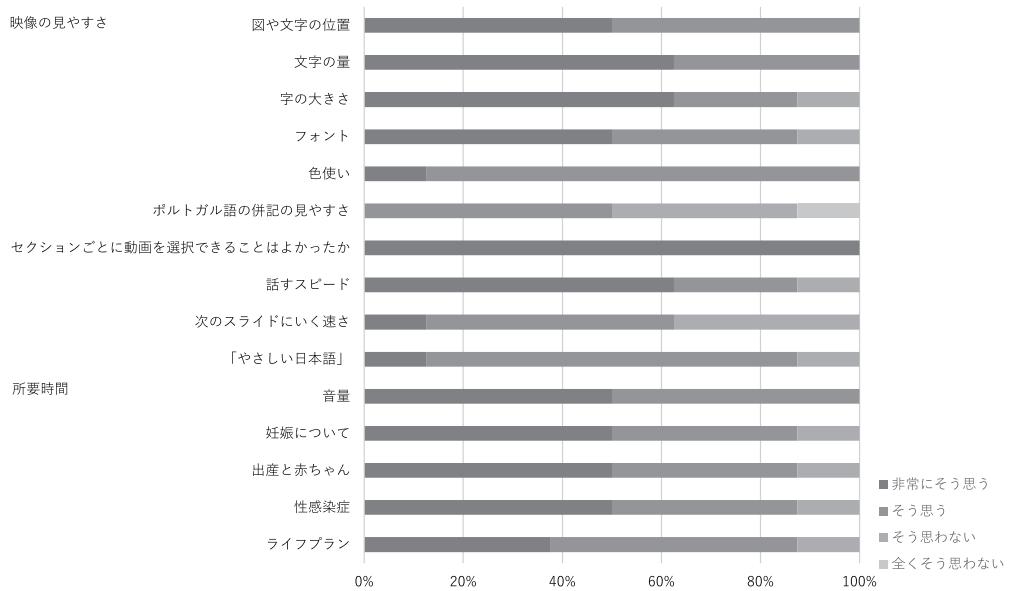


図1 映像教育教材としての適切性

明の方が良いという意見やスライド展開や音声の速さへの指摘等があった。

(3) 所要時間の適切性

各セクションの所要時間は、全てのセクションで7名 (88%) が肯定的な評価だった。所要時間は適切であるという一方で、内容によってはゆっくり説明した方が良いという意見もあった。

2) 内容の適切性 (図2)

(1) 「妊娠について」の内容について

このセクションの全ての項目で、7名 (88%) が肯定的な評価だった。

内容については、精巣やマスタバーションの追記の必要があるという一方で、妊娠の仕組みで外性器を図示するのは保護者から心配の声があるのではないか、という指摘もあった。また、「毛」から「陰毛」への表現の変更の提案があった。

(2) 「出産と赤ちゃん」の内容について

「妊娠したあとについて」、「振り返りクイズ」は全員が、「妊娠中のこと」は7名 (88%) が、「お母さんと赤ちゃんの変化」は6名 (75%) が、肯定的な評価だった。

しかし、出産や育児が大変なだけであるという後ろ向きなライフケースとして伝わってしまうのではないかという危惧や、本教材に含める意図が不明などの意見もあった。また、出産や育児に前向きな印象を持ってもらえるよう、周りの人々と協力しながら育児をしていくことも伝えるのが良い、という意見もあった。

妊娠の経過や胎児の変化をイメージしやすいよう、図示した方が良いという意見や、外国人でも使用可能な日本の制度の情報提供も含めるべき、という意見もあった。

(3) 「性感染症」の内容について

「性感染症とは」、「感染経路」、「振り返りク

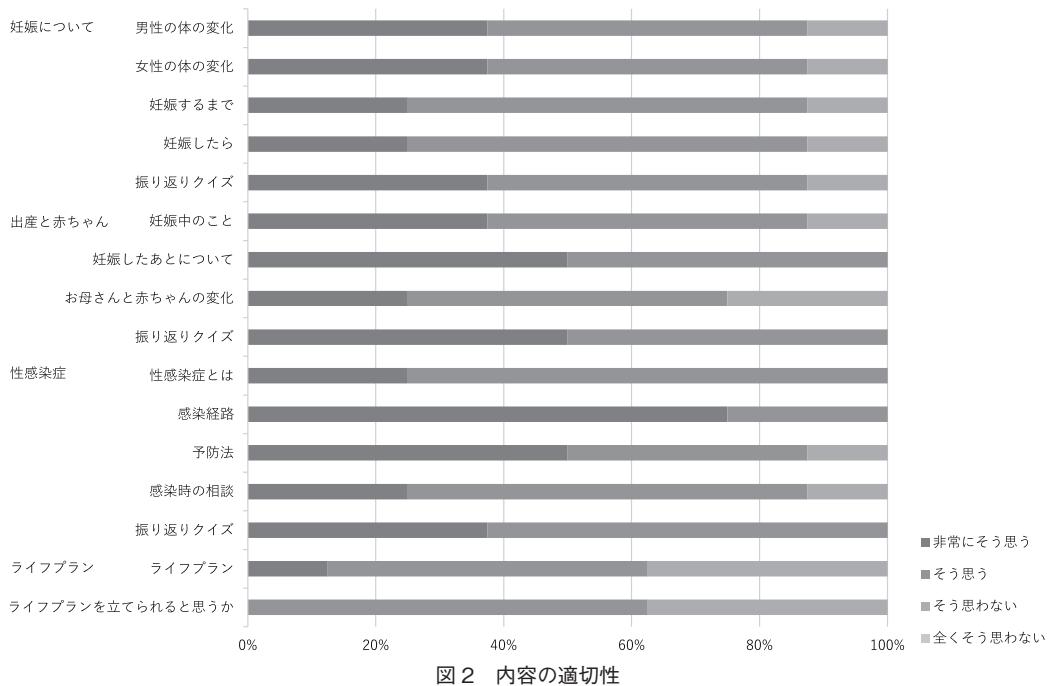


図2 内容の適切性

イズ」は全員が、「予防法」、「感染時の相談」は7名(88%)が肯定的な評価だった。「性行為」を男女に限定している部分がLGBTQ(Lesbian, Gay, Bisexual, Transgender, Questioning:LGBTQ)当事者への配慮不足の指摘があった。母子感染の感染経路の追記、相談先に養護教諭や担任の追記、コンドームの具体的な使用方法の追記の提案があった。また、「おまた」という表記は適切か、感染予防として性行為の相手を複数にしないことや責任が持てるまでしないことの追記、ジェンダーを問わない設問の選択肢への変更の指摘もあった。

(4) 「ライフプラン」の内容について

「ライフプラン全体の内容」、「生徒がライフプランを立てられると思うか」は、どちらも5名(63%)が肯定的な評価だった。「これまで学んだことを踏まえて・・・と冒頭にあって、ライフプランをと言っていましたが、何か唐突のような感じがしました」や、「情報量が少なく、プランを立てようにも思いつかない状態になってしまったと思います」といった知識とのつながりの唐突さや立案が難しいかもしれないという指摘があった。また、「虐待やDV体験、PTSDなどがある人は記入に躊躇するかもしれない。無理に記入しなくても良いという選択肢は必要かも」など、プランの例に生き方の多様性への配慮が必要という指摘や、無理に記入しなくても良いことの追記の提案もあった。

3) 映像教育教材全体について

4名(50%)は、イラストが分かりやすく、基本的な内容を網羅できており、全体的に分かりやすいという評価であった。また、この研究に対する期待のコメントもあった。一方で、生徒の理解度に説明の早さを合わせること、第二次性徴についての説明を増やすこと等の提案も

あった。

II. 修正点の抽出

上記の評価と意見を受けて再検討し、映像教育教材の修正点を抽出した。

1. 映像の見やすさ

文字の大きさや太さを工夫し、スライドの配色をカラーユニバーサルデザインとして色覚障害の方も見やすいように配慮した。また、所要時間や速度に関しては、話す速度やスライドの展開を遅くする一方で、内容を厳選して図やイラストを使用するなどし、所要時間は各セクションでそれぞれ15分以内にした。

2. 教材としての内容

分かりにくい医療用語、やさしい日本語はより平易な表現へと変更した。また、長文での説明は、文字から図やイラストへ変更し、視覚的に捉えられるようにした。さらに、LGBTQへの配慮として、性行為などの表現やイラストを男女に限定せず、ライフプランの選択肢も多様にした。内容の追加は、映像教育教材の対象者や目的などから再検討し、母子手帳が外国籍でも貰えることや、コンドームの正しい使用方法などを追加した。

作成時に使用したガイドラインなども参考に、適切性も考慮した。

III. 修正版映像教育教材の完成

本教材を修正し、日本語の音声とともにポルトガル語の翻訳も表記し完成とした。

修正したスライドの1例である。(図3)

また、Web上に公開した。(https://rasc.jp/sex-education/)

元のスライド



修正後のスライド

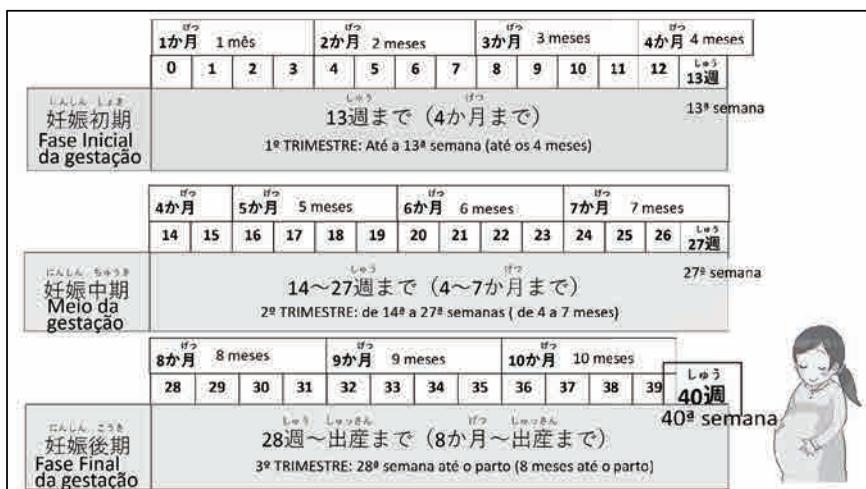


図3 スライドの修正

IV. 考 察

1. 映像教育教材の適切性

性に関する知識を持つことができる、という目的に対して、全体を通して分かりやすいといふ評価であった。森正は、映像的方法は映像刺激を活用して、受け手の知覚学習を援助・促進する学習指導法⁹⁾と述べている。また、映像教育教材は、「イメージ化」がしやすいとい

う特徴がある^{16) 17)}。今回の結果では、イラストが多く分かりやすさを評価する意見もあった。修正版では、外性器や性感染症などは、生徒によっては抵抗があることも考慮し、正しく描かれているシンプルなイラストで統一し、イラストを増やしてイメージ化を促した。さらに、より平易な表現へ変更し、説明不足の部分に関しては内容も追加した。これらの修正によって、よ

り理解しやすい内容となり、性に関する知識の習得を支援できる教材になったと考える。

自己のライフプランを持つことができる、という目的に対しては、肯定的な評価が約6割を占めており、目的に沿った内容だった。本教材はライフプランを立てる上で必要な知識となりうる内容である。しかし、この知識を基盤としても立案が難しいかもしれないことや、知識とのつながりの唐突さを指摘する意見もあった。立案する必要性や、性知識のつながり等の詳しい説明を追加するといった、さらなる工夫が必要であると言える。

また、多様性への配慮を指摘する意見も複数あった。その意見を反映し、イラストや説明をジェンダーレスとしたり、ライフプランの選択肢を増やしたりした。また、配色をカラーユニバーサルデザインへと変更した。UNESCO¹³⁾では、LGBTQに関する教育内容をスティグマや差別は有害なこととする説明の中に含めている。 LGBTQを含めた多様性の説明の仕方や、その内容と性教育を関連させることについては、今後の課題である。

2. 有用性

今回はセクションごとに動画を選択することについて、全員が肯定的な評価であり、その理由として「好きなタイミングで好きな内容の映像を選んでスムーズに見せることができる」、「興味・関心に応じて選択できる」等が挙げられていた。辻¹⁸⁾は、映像教材の利点として、必要な部分のみを活用できることを挙げている。今回の結果は、これと合致していると考える。セクションごとに動画を分けることは、性教育になじみがなかった生徒にとって自分のペースで理解を深めることができ、理解を深め

たい内容は繰り返し視聴できること、自分のスケジュールに合わせて視聴できること、さらに、教員が性教育の補完・強化をする際に、動画選択をして教材として活用することも可能である。加えて、二言語表記であるため、日本語が必修科目ではない場合もある外国人学校において、授業の一部や自己学習として容易に活用しやすい教材であると言える。

3. 研究の限界と今後の課題

今回の対象者は、機縁法によって選択されたブラジル人学校の教員と、性教育経験のある専門職を合わせて8名という少数であったため、性教育の経験やブラジル人学校でのカリキュラムの影響を受けている可能性があり、評価者の背景に偏りがあることは否定できない。また、本教材の対象となる生徒からの評価を得ていなかったため、適切性や修正点については本研究の限界となる。

今後の課題は、LGBTQを含めた多様性を考慮していくことと、多様性に加え、文化や宗教的背景への配慮である。また、本研究を本研究テーマの第一歩として位置付け、より多くの生徒を対象に、映像教育教材を用いた性教育における生徒の知識の獲得状況やライフプラン立案への意識の変化などを、事前事後で測定して評価する量的研究などを今後行いたい。

V. 結 論

医療用語や「やさしい日本語」の表現を修正し、図やイラストを増やしてイメージ化を促進し、理解を促せるようにした。さらに、LGBTQへの配慮として、性行為などの表現やイラストを変更し、ライフプランの選択肢も多様にしたが、多様性を考慮した内容にしていくことに課題が

残った。

(本研究は、聖路加国際大学大学院看護学研究科博士前期課程課題研究の一部を加筆、修正したものである。また、第41回日本性科学会学術集会で発表した。)

本論文内容に関連する利益相反事項はない。

文 献

- 1) 出入国管理庁：政府統計の総合窓口 (e-Stat) 在留外国人統計 (旧登録外国人統計) 2021月6月 国籍・地域別 年齢・男女別 在留外国人. 2021.〈<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&layout=datatable&toukei=00250012&tstat=000001018034&cycle=1&year=20210&month=1040606&tclass1=000001060399>〉 (2022年1月23日検索)
 - 2) 学校教育法：昭和22年3月31日 法律第26号(令和4年6月22日施行). 1947. 〈<https://elaws.e-gov.go.jp/document?lawid=322AC0000000026>〉 (2023年1月14日検索)
 - 3) 厚生労働省：別添2「外国人雇用状況」の届け出のまとめ【本文】(令和2年10月末現在.2021.〈<https://www.mhlw.go.jp/content/11655000/000729116.pdf>〉 (2022年1月23日検索)
 - 4) 厚生労働省：別添3「外国人雇用状況」の届出状況表一覧(令和2年10月末現在). 2021.〈<https://www.mhlw.go.jp/content/11655000/000728549.pdf>〉 (2022年1月23日検索)
 - 5) 厚生労働省：政府統計の総合窓口(e-Stat) 人口動態調査 人口動態統計 確定数 別表5, 出生数, 母の年齢(5歳階級)：母の平均年齢, 都道府県(特別区-指定都市再掲)・母の国籍別 2020. 2021.〈<https://www.e-stat.go.jp/dbview?sid=0003411769>〉 (2022年12月29日検索)
 - 6) 村越友紀, 望月善子, 渡辺博, 他：10代出産女性の現状と課題—10代出産女性のアンケート調査からの検討—: Dokkyo Journal of Medical Sciences 38(1) :87-94, 2011.
 - 7) 宮原香里, 近田玲子：在日ブラジル人の母親の子どもへの性教育に関する悩み—小児健康評価相互作用モデルを基盤とした質的研究—: 佐久大学看護研究雑誌 4 (1) :39-49, 2012.
 - 8) 森 菜穂子, 太田 誠耕. 高等学校性教育におけるマルチメディア教材の利用と性知識に関する学習効果. 学校保健研究, 47 (2) : 145-161, 2005.
 - 9) 森正義彦：映像的伝達中心の学習指導法. 学習指導法の心理学. 有斐閣, 東京, 60-10, 1993.
 - 10) 厚生労働省：健やか親子21 指標及び目標一覧【全体】.2019. 〈<file:///C:/Users/aloha/Downloads/000756921.pdf>〉 (2023年4月15日検索)
 - 11) 外国人集住都市会議.外国人集住都市会議 東京2014～すべての人が互いに尊重し, 共に支え合う地域社会をめざして～ 多文化共生社会をめざして 報告書. 2014.〈<https://www.shujutoshi.jp/2014/siryou01.pdf>〉 (2020年4月30日検索)
 - 12) 文部科学省.学校基本調査—平成26年度(確定値)結果の概要—, 調査結果の概要(初等中等教育機関, 専修学校・各種学校). 2014.
- 〈<https://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/>〉

- pid/11293659/www.mext.go.jp/component/b_menu/other/_icsFiles/afieldfile/2014/12/19/1354124_2_1.pdf> (2020年5月1日検索)
- 13) UNESCO : International technical guidance on sexuality education: an evidence-informed approach. 2018. < <https://www.unfpa.org/sites/default/files/pub-pdf/ITGSE.pdf> > (2023年1月10日検索)
- 14) 東京都オリンピック・パラリンピック準備局:やさしい日本語について. 多言語対応 協議会ポータルサイト. 不明. <<https://www.2020games.metro.tokyo.lg.jp/multilingual/references/easyjpn.html>> (2021年1月3日検索)
- 15) 出入国管理庁, 文化庁:在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン. 2020. <https://www.bunka.go.jp/seisaku/kokugo_nihongo/kyoiku/pdf/92484001_01.pdf> (2021年1月6日検索)
- 16) 渡辺恵美子, 斎藤今日子:看護過程の演習における自作DVDの教育効果. 竹田総合病院医学雑誌 40 : 49-53, 2014.
- 17) 江藤和子, 椎野雅代, 宮原舞子, 他:精神看護学における映像教材の有効性の検討ビデオ教材の作成過程と評価. 日本精神科看護学術集会誌 58 (2) : 244-248, 2015.
- 18) 辻義人: 視聴覚メディア教材を用いた教育活動の展望—教材の運営・管理と著作権—. 小樽商科大学人文研究 115 : 175-194, 2008.